私は日本で一番したいことは日本戦国時代の名所を訪れることです。子供の時から、武士に関連する映画、書籍、ゲームなどをたくさん見てきたので、ずっと興味があります。

しかし、これだけではどうしても満足できないことがあるかもしれません。自分を戦国時代の名所に行けば、そのどころに置いて、まるで過去に戻るかのように、歴史を体験します。この感じはどんなに本を読んでも味わえない貴重な体験でしょうね。自分で車を運転して、自由にのんびりと、一つ一つ戦国時代の名所を訪れることができたら、それは私にとって人生の大きな楽しみです。

戦国時代ってば、皆さんは織田信長、豊臣秀吉、徳川家康という三人の名前を聞いたことがありますか。彼らはみんな戦国時代に日本を統一しようとした武将で、同じ時代に生まれました。しかし、性格はまったく違いました。

例えば、信長ですが、彼はとても頭が柔らかい人で、西洋の文化やキリスト教を誰よりも早く受け入れました。でもその反面、とても気が短くて、気難しい性格でした。そのため、日本を統一する前に、明智光秀という家臣に殺されてしまいました。（本能寺の変）

秀吉は信長の家臣でした。彼の父親が「足軽」という一番身分の低い侍だったので、若い頃から「出世したい」という気持ちがとても強く、負けず嫌いでした。そのため、他の家臣が「できません」と言えば、彼は「必ずやります」と言いました。よく言えば、いつも前向きな努力家、悪く言えば、目立ちたがり屋でした。

家康は信長と秀吉の性格がまったく反対でした。彼はとても慎重で我慢強い人でした。自分の本当の気持ちをなかなか言わなくて、自分にチャンスが来るのをじっと待っていました。だから、信長と秀吉が死んだ後で日本を統一し（関ヶ原合戦）、江戸幕府を開いたのです。江戸幕府はその後２６０年続きました。